

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2021/07/01

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.03	-0.06
JPY/THB	0.2882	-0.0019
USD/JPY	111.11	0.58
EUR/THB	37.97	-0.18
EUR/USD	1.1858	-0.0039
USD/CNH	6.468	0.002
SGD/THB	23.81	-0.03
AUD/THB	24.02	-0.07
USD/INR	74.33	0.10
USD Index	92.44	0.39

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	0.848	-0.006
10Y (THB)	1.779	-0.023
5Y (USD)	0.889	0.000
10Y (USD)	1.468	-0.002

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,771.6	8
WTI (Oil)	73.47	0.49
Copper	9,374.5	40.0

Stock

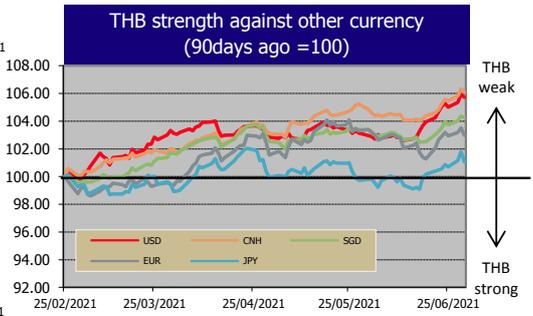
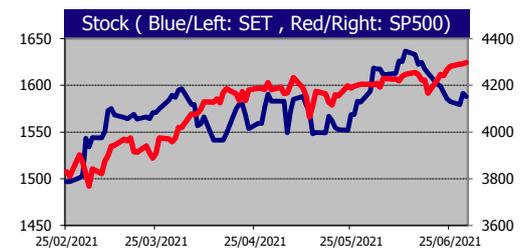
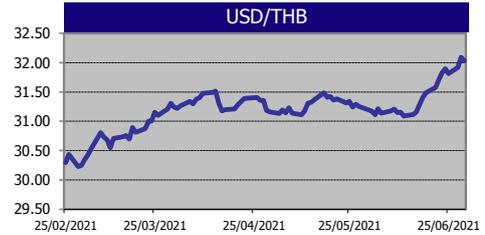
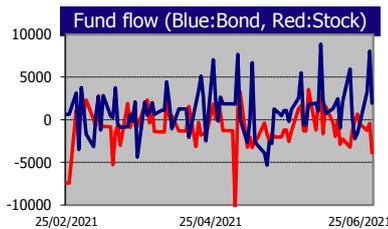
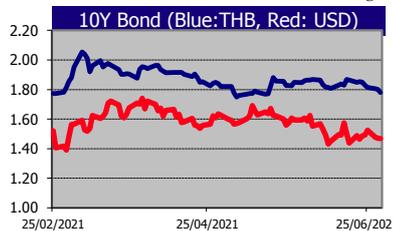
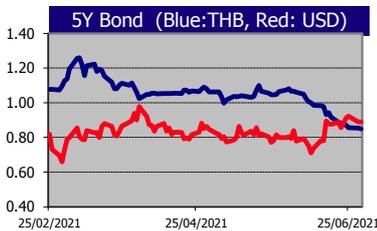
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,587.79	-3.64
NIKKEI (JP)	28,791.53	-21.08
DOW (US)	34,502.51	210.22
S&P500 (US)	4,297.50	5.70
SHCOMP (CN)	3,591.20	18.02
DAX (GER)	15,531.04	-159.55

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,897)	-3467.3
Bond net flow	1,956	-6100.8

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは小幅下落。バンコック時間は32.10近辺でオープン。この日は月末・四半期末に当たることから、実需のフローが交錯し、日中はパーツ買いが優勢の展開。この日はタイ中銀から5月の経済指標結果が発表され、輸出拡大が増加している一方、経常収支赤字幅が拡大が示され、タイの経済悪化が意識される中、ドルパーツは32.00近辺でクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇。東京時間は110.55円近辺でオープン。月末の実需の売り買いが交錯する中、狭いレンジで推移。海外時間には四半期末フロー伴うドル買いが強まり、ドル円は111円を突破。米株が堅調推移したこともあり年初来高値の111.12まで上昇し、そのまま111.10円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

金融緩和政策の引き上げに向けて地ならしを開始した米FOMCから約2週間が経過しました。市場においても金融緩和解除後を先取りした動きが顕著になって来ています。例えば米物価連動債が織り込む予想物価上昇率は5月中旬をピークに下落基調です。また2023年以降の利上げ期待を受けて米短期金利が上昇する一方、インフレ期待の落ちつきを受けて米長期金利は低下基調、結果として米イールドカーブのフラットニング(平坦化)と呼ばれる現象が起きています。イールドカーブのフラットニングは、利上げ局面に先立って毎再生じている現象であり、市場が将来の利上げに本格的に備え始めたと言えると思います。一方、為替はドル高で反応していますが、実は米利上げが毎回ドル高につながっている訳ではありません。これは為替の値動きについては、経常収支といった実需要因も関係があることと、相手国の状況も関係があるためです。ドルタイパーツで言えば、タイにおいてはコロナ対応に苦慮している状況下であり、タイ側の要因からもドル高基調ということになりますが、コロナの状況が落ち着けば状況は変わり得ることは念頭において置きたいところです。(池澤)